

事業名	マンションアドバイザー派遣事業		団体名	NPO法人岡山県マンション管理組合連合会			事業総額 (決算額)	¥260,050
			担当課	岡山市住宅課				
NO.	評価項目	5	4	3	2	1	評価の理由	
		多くの成果を得られた	想定以上の成果を得た	概ね想定どおりだった	課題が残った	多くの課題が残った		
1	協働の相乗効果、波及効果は生まれましたか？					○	岡山市の協力により様々な媒体で事業の広報を実施したが、十分な成果にはつながらなかった。情報を届けるだけでなく活用を促す動機づけを同時に考えて発信するべきだった。	
2	提案団体と岡山市の役割・責任の分担は当初の予定どおりに実行されましたか？			○			当初に想定していたとおり、岡山市が不特定多数への情報発信を行い、提案団体が専門家の調整と派遣を担った。	
3	協働事業のモデルとなることを意識して、今後につながる成果を生み出すことができましたか？					○	課題設定や役割分担はモデルとなる可能性を有していたと思われるが、派遣件数がふるわず、十分な成果を示すことができなかった。	
4	当初に設定された事業目標を達成することができましたか？					○	当初の目標は10件であったが、結果的に4件のアドバイザー派遣(申し込みは5件であったが、派遣に至らなかった)となった。	

事業名	マンションアドバイザー派遣事業	団体名	NPO法人岡山県マンション管理組合連合会	事業総額 (決算額)	¥260,050
		担当課	岡山市住宅課		
5	今後の展望について(NPOより)	マンション居住者が増えていく中で、その当事者である各区分所有者は、管理等に関して無関心(または、コミュニティのなさ)である。特に、マンションは共同住宅、共同管理であり、建物等の『維持管理の面』だけではなく、人の『生活の面』も今後考えていく必要がある(いわゆる『二つの老い』である。)。行政(住宅課以外を含む。)や他のNPO等との連携を行うことにより、マンションへの関心を高め、『居住・生活支援』を図ることで、マンションは、岡山市が目指している『顔の見えるコンパクトシティ』となりうるし、『まちづくりの一環』として貢献できるのではないかと考えている。			
	今後の展望について(岡山市より)	今回のアドバイザー派遣事業は、結果として目標件数は達成されませんでした。今後必ず必要とされる事業であり、岡管連においては、引き続きいろいろな機会を通じてマンション管理組合への啓発に努め、会員数の増加とそれに伴う相談・支援活動の充実を図っていただきたいと思います。またそれについて、市としてできることがありましたら、可能な範囲で今後とも協働して事業を実施していきたいと考えております。また昨今は本市以外の市町でもマンションの建設が進んできていることから、今後は県との連携・協働も検討されるべきかと思っております。			
6	総評(ESD・市民協働推進センター)	「耐震偽装問題」を通じてマンションが抱える不安・課題が広く社会的に認知されたとおり、提案団体と担当課の問題意識は適切であり、先見性を有していたと思われ。本事業では体制や予算の都合で実現することができませんでしたが、各マンションへのアンケート・ヒアリングによる実態把握(とそれを通じた意識啓発)や住民自身が参加・実施可能な簡易点検など、専門家派遣以外のツール・機会を用意することで、各マンションの状況・認識に応じた支援施策が継続的に提供されることを期待しております。			
7	目標管理(ESD・市民協働推進センター)	達成できた目標		達成できなかった目標	
		<p>目標①専門家派遣及びヒアリングによりできるかぎり岡山市内のマンションが抱える問題を顕在化し、行政及びマンション管理組合等に問題提起する。</p> <p>結果①派遣及びヒアリングの件数は決して多くなかったが、岡山市主催セミナーでのブース設置やチラシ、フェイスブックを通じた情報発信により、一年間を通じて問題提起を行った。</p> <p>目標②次々年度以降の調査事業実現に向けて事業成果の発信と法人の周知拡大に努める。</p> <p>結果②事業の成果に基づいて今後も継続的に問題提起と活動の周知に努める。</p>		<p>目標①専門家派遣件数:10件以上</p> <p>結果①専門家派遣件数:4件</p> <p>想定される原因①マンションが抱える課題の解決主体は住民及び管理組合であるという啓発が十分にできなかった。サービスと実施主体の周知は行っているため、今後の相談の増加に期待したい。</p>	